

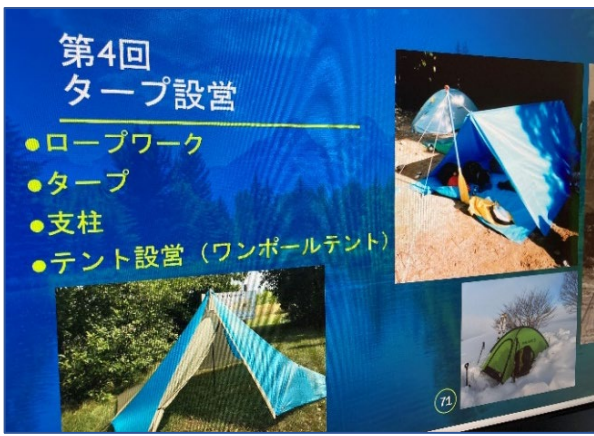
オープンカレッジ通信

No.7 2021. 7. 8

「夏の大人の野遊び入門」 幼児・児童教育学科教授 田中 一徳

第4回目を6月28日に実施しました。

担当 コミュニティカレッジセンター



タープ1枚でシェルターを設営

四角形のタープ1枚、ポール1本を使って、泊まれるシェルターを設営しました。緑のシェルターは田中先生が設営したトレッキングポールを使用したお手本です(写真左)。受講生は田中先生の指導を受け、試行錯誤しながら床つきシェルターを完成させました(写真右)。タープは、ポールを立てる位置や張り方、折り方によって、様々なスタイルのシェルターが作れます。



ブルーシートをタープとして利用する場合には、小石を入れ「てるてる坊主」の様にロープで結び張ることで、ハトメの破損を防ぎ、強度のあるタープとして活用することができ、災害時等にも役立ちます。

登山の非常用簡易テントに使われるツェルトは、状況によって張り方を変えられる自由度の高いシェルターになります。装備の軽量化のため、ペグの代用品として現地調達の小枝をナイフで加工して利用することもあります。



ワンポールのフロアレステントは、土足のまま出入りでき、荷物置きやタープの代わりとしても活用できます。また冬期のワカサギ釣り等にも便利に使えます。

編集後記

今回は、構内のアウトドアキャンパスで活動をしました。作業をする前に田中先生が「これから日陰になる場所にシェルターを設営しましょう。」と言いました。周りを見渡し、自分の居る場所や太陽の位置を確認しました。些細なことでしたが、普段屋外で過ごすことがないため、改めて太陽や方角を意識することがとても新鮮でした。取材をしながら、自然を感じています。

講座の楽しみ方や感動ポイントは、受講生の経験値によって人それぞれ。田中先生のアウトドア体験談が聞けるのも楽しみの一つです！！

コミュニティカレッジセンター